

本学の新型コロナウイルス感染症への対応

2020年7月

『危機事象対策本部』を設置 (2020年2月17日)

構成員：学長,全理事,工学研究院長,情報工学研究院長,生命体工学研究科長,
教養教育院長,産業医

関係部署と連携しつつ、機動的に対策を決定・実行

- 3月
 - ◎ 合同企業説明会 (3.4～5) 中止
 - ◎ 一般入試後期日程試験 (3.12) に係る対応及び公表
 - ◎ 令和2年度 学位記授与式 (3.25) の中止
 - ◎ 本学主催イベント等の中止
 - ◎ 海外渡航職員及び学生の把握
 - ◎ 職員・学生から罹患者等が発生した場合の対応検討
 - ◎ 外国からの入学予定者の把握及び対応
- 4月
 - ◎ 令和2年度 入学式 (4.7) の中止
 - ◎ 新入生オリエンテーション (分散開催)
 - ◎ 前期の授業開始日を5.7に延期, 前期 (1-2Q) の授業を原則遠隔授業にて実施
 - ◎ キャンパス内への入構、課外活動の禁止 (1Q終了まで)
 - ◎ 教育職員の原則在宅勤務 事務職員・技術職員等は最小限のシフト勤務開始
 - ◎ その他 緊急事態宣言発令に基づく対応
- 5月
 - ◎ 在学生への経済的支援 (給付型, 貸付型, 授業料免除, アルバイト等)
- 6-7月
 - ◎ キャンパス内への全面的な入構制限の解除 (各学部でルールを策定)
 - ◎ 一部科目 (実験・実習等) において対面式授業の再開
 - ◎ 課外活動 (部活、サークル、学生プロジェクトなど) の段階的活動再開

新型コロナウイルス感染症への対応

Important Notice on COVID-19

English page is here (Notice to international students)

九州工業大学では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応すべく、2020年2月17日に危機事象対策本部を立ち上げました。本対策本部を中心として在学生、教職員及び関係する皆さまの安全確保を最優先に、大学として必要なあらゆる措置を迅速に講じてまいります。また、大学として決定した事項はこのページに集約し、速やかにお知らせいたします。情報は随時追加され更新されますので最新情報をご確認ください。

九工大のコロナウイルス感染症への対応状況(6月末現在)はこちら

[更新情報]

2020.07.27 「各種通知」のページを更新しました **NEW**

2020.07.08 九工大のコロナウイルス感染症への対応状況(6月末現在)を掲載しました **NEW**

2020.07.07 「経済的支援」のページを更新しました **NEW**

2020.06.29 「よくある質問FAQ」のページを更新しました

各種通知

遠隔授業

入構制限

課外活動

就職活動

経済的支援

健康支援・感染防止

その他

主に「学生」へ、迅速に正確な情報を伝えることを念頭に整理されたウェブサイトを構築

外国人留学生向けページ

知りたい情報に迷わずアクセス

よくある質問FAQ

全般・スケジュールに関すること

01-01 キャンパス内にはいつから入構できるようになりますか？ **6.29更新**

第2クォーター（6月30日～）以降、全学的な立入禁止の措置は解除します。今後は、各学部等が定める入構ルールを確認し、それに従ってください。詳しくはこちらをご確認ください。

01-02 前期（第1クォーター、第2クォーター）の日程を教えてください。

01-03 研究室での研究活動（実験等）はいつから行うことができますか？ **6.29更新**

遠隔授業に関すること

02-01 遠隔授業はいつから始まるのですか？

全学遠隔授業支援WG

危機事象 対策本部

保健センター

- 3密対策の支援
- 感染予防策の支援

教育企画室

- 全学の教育関連組織
- 遠隔授業対応状況共有

教員

- ・講習会参加
- ・遠隔授業の教材作成

学生

- ・アンケート回答
- ・遠隔授業受講

- 遠隔授業実施に係るアンケート実施
 - ✓ 学生のネット環境
 - ✓ 教員の遠隔授業対応状況
 ⇒ 各部局の問題点、課題点を抽出
- 遠隔授業実施のための講習会企画
 - ✓ 教員および学生向け
- 遠隔授業実施科目の把握

飯塚サブWG

戸畑サブWG

連携

若松サブWG

教養サブWG

情報基盤センター

- 初期設定講習会
 - ✓ 新入生(BYOD)向け
- 一斉負荷アクセス対応
 - ✓ ネットワーク
 - ✓ 認証システム

学習教育センター

- 遠隔授業の技術支援
 - ✓ 非常勤講師への対応
- 各種講習会実施
 - ✓ 遠隔授業モデルの例示
- 一斉負荷アクセス対応
 - ✓ 仮想資源増強
 - ✓ パフォーマンス調整

質の高い教育の提供と
学生が安心して学修できる環境整備

遠隔授業 スケジュール

3月15日	日	オンライン講義事前検討1(メール)	
3月30日	月	オンライン講義事前検討2(メール)	
4月6日	月	オンライン講義事前検討3	
4月7日	火	福岡県 緊急事態宣言発令	
4月8日	水	休校措置、学長メッセージ 大学HP掲載	
4月9日	木	在宅勤務(教員)、交替勤務(事務職員) スタート	
4月10日	金		
4月11日	土		
4月12日	日		
4月13日	月	遠隔授業の実施に係るアンケート開始 (～4/20)	
4月14日	火		
4月15日	水	第1回遠隔授業支援WG(ビデオ会議)	
4月16日	木	初心者向けMoodle講習会・午前・午後(ビデオ会議)	
4月17日	金	遠隔授業説明会(ビデオ会議) カウンセラー、ソーシャルワーカーからのメッセージ 大学HP掲載	初期設定講習会
4月18日	土		
4月19日	日		
4月20日	月	遠隔授業アンケートの集計	
4月21日	火	中級者向けMoodle講習会(ビデオ会議)	
4月22日	水	第2回遠隔授業支援WG	
4月23日	木	初心者向けMoodle講習会・午前(ビデオ会議) 学長メッセージ 大学HP掲載	
4月24日	金		
4月25日	土		
4月26日	日		
4月27日	月		
4月28日	火	中級者向けMoodle講習会・午前・午後(ビデオ会議) 第2回遠隔授業支援WG	
4月29日	水		
4月30日	木	初心者向けMoodle講習会・午前(ビデオ会議) Moodle 1000人リモート一斉アクセス試験 遠隔授業科目の詳細、情報モラル 大学HP掲載	
5月1日	金	保健センター医師による講義室の感染予防対策確認	
5月2日	土		
5月3日	日		
5月4日	月		
5月5日	火		
5月6日	水		
5月7日	木	遠隔授業開始	
5月8日	金		
5月9日	土		
5月10日	日		
5月11日	月		
5月12日	火	教育企画室会議 第3回遠隔授業支援WG	
5月13日	水	遠隔授業受講状況のアンケート開始	

Zoom + Moodle連携調整

仮想資源の増強

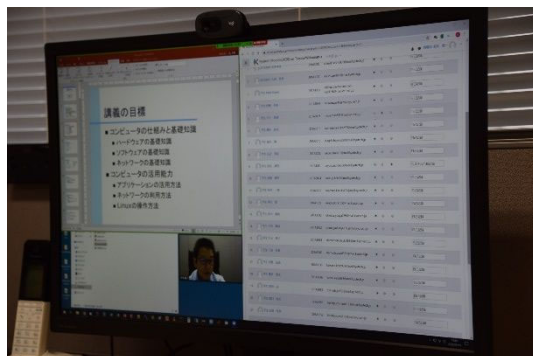
Zoom講習会(学生)

Zoom設定(教員)

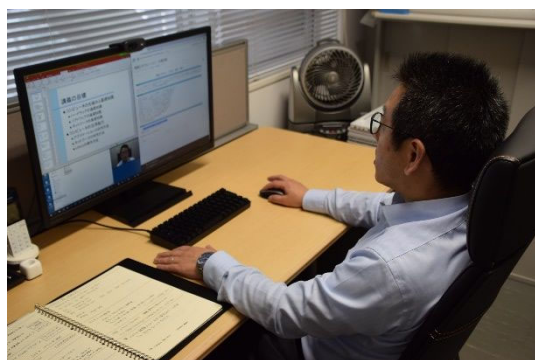
パフォーマンス調整

パフォーマンス改善

5/7 遠隔授業開始



▲工学部1年生「情報リテラシー」
必修科目



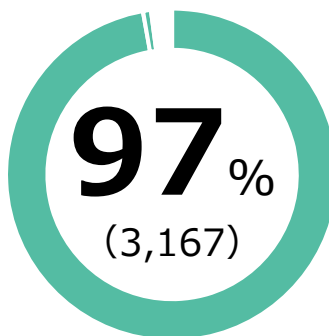
▲Moodleによる講義資料掲載とZoom
を用いた解説を行う非同期・同期の併
用型授業を実施

5/13～ 遠隔授業アンケート

5/31集計 3,259名 全学回答率 58%

(※学部生 1年98% 2年71% 3年61%)

設問①遠隔授業の受講状況 (遠隔授業を受けることができています)

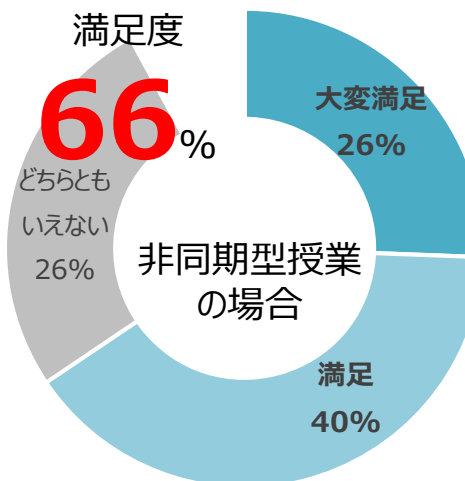
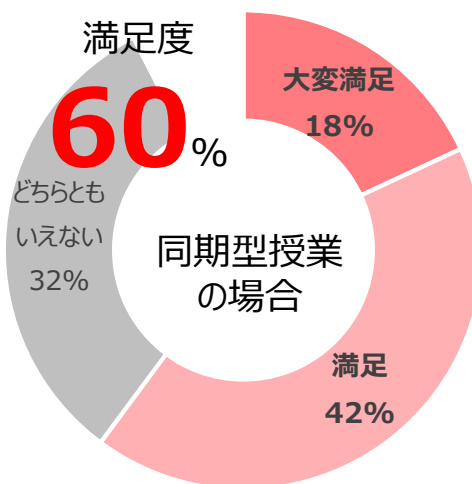


✓ 遠隔授業アンケートの集計結果により、受
講状況や満足度について、良好に実施され
ていることがわかる。

✓ しかしながら、講義資料の受信や通信環境
の課題も明らかになり、今後対応を進め、円
滑な授業実施を図る。

ノートパソコン、Wi-Fiルータの貸出(7/29現在)
ノートパソコン 10名 Wi-Fiルータ 21名

設問⑧遠隔授業の満足度



遠隔授業実施科目 学 部 **427** 科目 (工学部 256科目・情報工学部 171科目)

【前期(第1-2クォーター)】 大学院 **204** 科目 (工学府 82科目・情報工学府 70科目・生命体工学研究科 52科目)

※前期開講授業のうち**97%**で遠隔授業を実施 (第1Q: 100%、第2Q: 92%)

オンラインお昼休み
(学部1年生の交流会)



■学部1年生の交流会

学部1年生を対象に、友達作りのきっかけの場として実施。お昼ご飯を食べながら、自己紹介やお題に沿って自由におしゃべりしてもらう企画。(12回実施し294名参加)

オンラインお昼休み
(海外留学シリーズ)



■海外留学シリーズ

海外留学を希望する学生を対象に、海外留学を経験した先輩の体験談や、海外と結んで語学研修の紹介など、海外留学の魅力を発信する企画。(10回実施し221名参加)



■zoom相談窓口

先輩学生がICT講義環境についての質問に答えるzoom相談窓口を開設

オンライン留学相談会



■海外留学相談会

海外留学を希望する学生を対象に、zoomで面談を実施します。どんな海外派遣プログラムがあるか、費用や経済支援など、気軽に相談。(71名の参加者)

学長メッセージ ~慎重さと寛容な気持ちを持ち、結束して新たな未来づくりを~

TOBATA
TeamsCafe
Welcome!
Mon to Fri 12:15-45

■工学部お昼休み参加型情報番組

工学部学生のみなさんを対象に、工学部の同級生や先輩、先生方と接する場として、オンラインでの情報共有スペース「TeamsCafe」を毎日配信中

図書館学生サポーターによる
遠隔学習相談
@Moodle
受付中



■附属図書館学生サポーターによる遠隔学習相談

学習支援をしている図書館学生サポーターが、遠隔授業期間中はMoodle上で相談を受付中。チャットによるリアルタイム相談とフォーラム機能を利用した質問掲示板があり



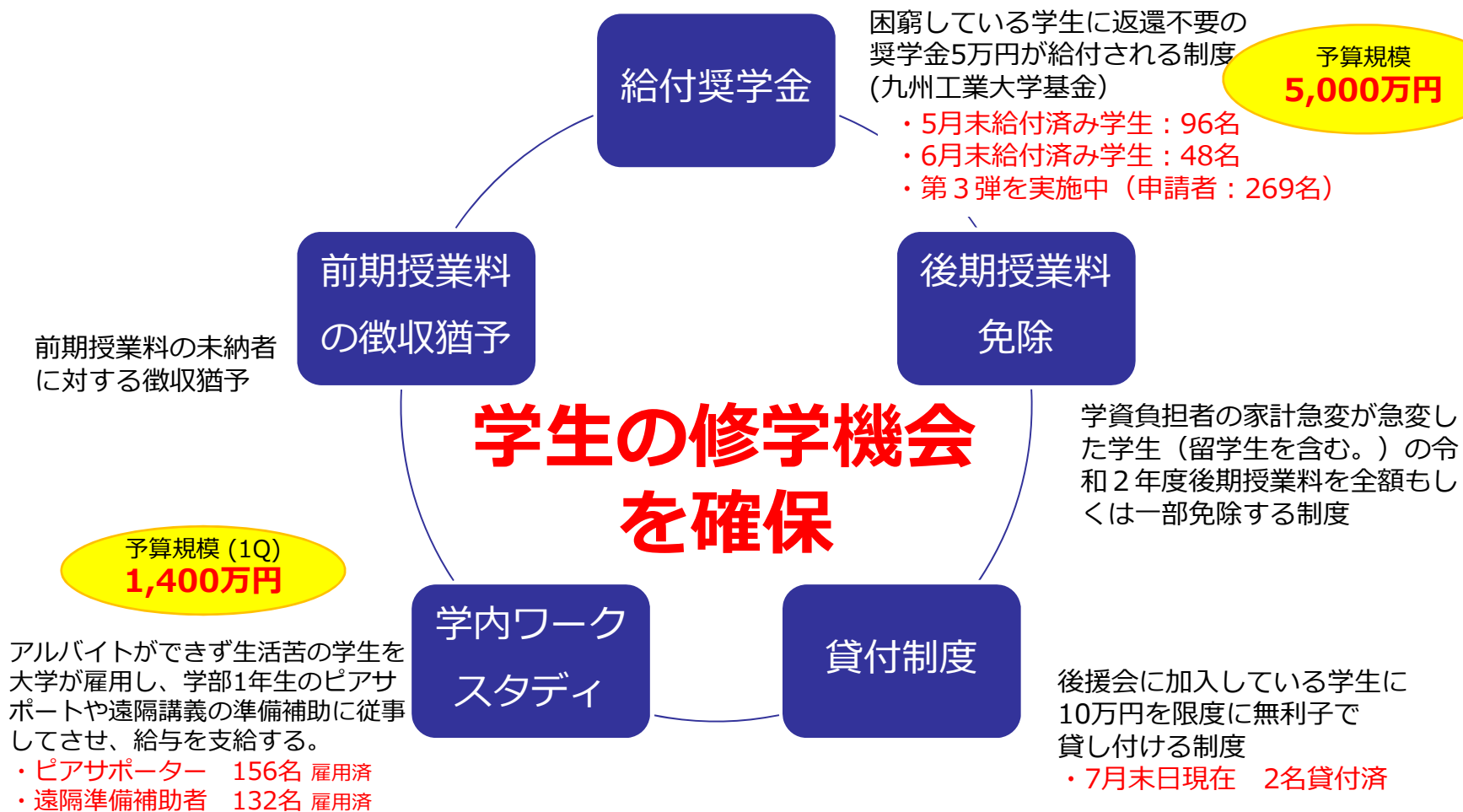
■情報工学部長の YouTube「学部長だより」

安永学部長によるYouTubeによる履修登録や遠隔授業の解説など学生へのメッセージ配信 (vol.14まで配信)



■生命体工学研究科 留学生オンラインオリエンテーション

まだ来日できておらず不安を感じているであろう留学生に、キャンパスの雰囲気を感じてもらい、来日後にスムーズに日本の生活に馴染めるよう、情報共有とネットワーク構築を目的に実施



（参考）日本学生支援機構の支援制度

学生支援緊急給付金	家計急変給付奨学金	緊急特別無利子貸与型奨学金
家庭から自立してアルバイト等により学費を賄っている学生の修学継続が困難になっている場合に、返還不要の給付金（20万円or10万円）が給付される制度	家計が急変した学生に返還不要の奨学金が毎月給付され、授業料が全額もしくは一部免除される制度	世帯収入やアルバイト収入等が大幅に減少した場合に、緊急支援として無利子で第二種奨学金の貸与が受けられる制度

現状

4月6日より合宿、遠征、対外試合、演奏会、ライブ、イベント等はもちろんのこと、学内外での課外活動（練習、ミーティング）についても禁止

活動再開準備

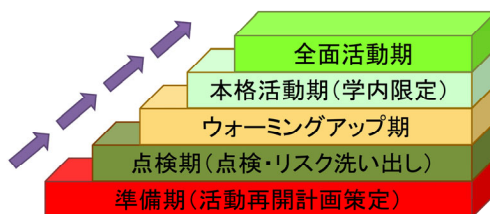
【リーダーシップセミナー開催】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で課外活動も活動自粛を余儀なくされている中、第2クォーター（6月30日）からコロナ対策に取り組んだ学生プロジェクトを含む課外活動団体から、段階的に活動が再開できるよう大学としてもサポート。
その一環として、安全安心して活動が再開できるよう学校医によるオンラインでコロナ予防講習を実施。

- 6月10日（水） 日時：16時20分～17時20分 参加：86名
 - 6月11日（木） 日時：16時20分～17時20分 参加：60名
- 計 146名の参加者**

活動再開ステージの例

課外活動再開に際しては、以前と全く同じような活動からいきなり開始するのではなく、徐々に段階（ステージ）を踏んで活動を再開していくことが望ましい。



各競技団体・連盟のガイドライン・提言等(2020年6月1日現在)

競技	所属団体	URL	PDFファイル	備考
合気道	公益財団法人合気会	http://warabiakidokai.com/2020/02/28/post-874/	有	道場再開にむけての対策の記載あり
アイスホッケー	公益財団法人日本アイスホッケー連盟	https://www.jihf.or.jp/whatsnew/detail.php?id=2377	有	安全にアイスホッケー活動に戻るためのロードマップ
アメリカンフットボール	公益財団法人日本アメリカンフットボール協会	https://americanfootball.jp/archives/3555	無	関係省庁の方針等見ながら引きつづき感染対策していく旨の記載
空手	全世界空手道連盟新極真会	http://www.shinkyokushinkai.co.jp/info/202061/#more-48125	有	
	公益財団法人全日本空手道連盟	https://www.jkf.ne.jp/	有	講習会・審査会用であるが、参考のため
弓道	大阪府弓道連盟	http://www.osaka-kyudo.jp/	有	ガイドラインはないようであったため、大阪府弓道連盟としての対応策を参考として記載
剣道	全日本剣道連盟	https://www.kendo.or.jp/information/20200405/	無	4/12以降更新されていない
硬式テニス	公益社団法人日本テニス事業協会	https://www.jtia-tennis.com/	有	

活動再開

活動計画書を提出し、対策が講じられていることが確認できた団体から6月30日以降順次活動を再開（7月末現在、62%の団体が活動再開済）

学生募集への対応

オンライン受験相談会を開催 (5月-6月に3回)

本学に興味のある高校生・高専生、保護者、高校教員のみなさまを対象に、Zoomを利用した個別受験相談会を開催のべ約100組が参加 (1組あたり30分)

他の国立大に先駆けての開催となり
多数のメディアに取り上げられた

◇5/3 17:20～

TVQ九州放送 ニュース

◇5/6 18:20～

KBC九州朝日放送「シリタカ」

◇5/4 読売新聞 筑豊版 掲載

◇5/18 朝日新聞 地方版 教育面 掲載



※次回開催予定日：8/22、9/6

オンライン オープンキャンパスを開催



非対面でも本学の魅力を発信できる新規コンテンツを準備中

①いつでも閲覧できるWEB・動画コンテンツ

→学部・学科紹介、研究紹介、サークル紹介など
【公開日：工学部は8/1 / 情報工学部は7/1】

②2日間限定！対話型コンテンツ

→公開講義、受験相談会、学生による相談会など
【工学部8/9・10 / 情報工学部7/19・23】

就職活動への対応

3/4-5 学内合同企業説明会 (申込企業700社以上)

⇒中止

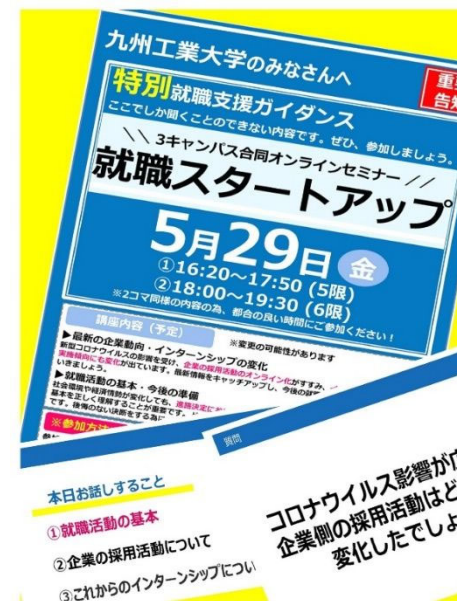
3月下旬に合同企業説明会参加予定企業対象パンフレット会 (各キャンパス) を開催

※学生個々に都合の良い時間に自由に取りに行ってもらう形で実施

5/26 「2020年度 インターンシップガイドライン」を作成

5/29,6/3 オンライン就職セミナー「就職スタート アップ講座」を開催

※3回開催、
参加学生860名以上



新型コロナウイルス感染症への対応 / Important Notice on COVID-19を
更新しました

更新日:2020.06.10

新型コロナウイルス感染症への対応

Important Notice on COVID-19

English page is here (Notice to international students)

九州工業大学では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応すべく、2020年2月17日に危機事象
対策本部を立ち上げました。本対策本部を中心として在学生、教職員及び関係する皆さまの安全確保を
最優先に、大学として必要なあらゆる措置を迅速に講じてまいります。また、大学として決定した事項
はこのページに集約し、速やかにお知らせいたします。情報は随時追加され更新されますので最新情報
をご確認ください。

[更新情報]

2020.06.10 「経済的支援」のページを更新しました NEW
2020.06.09 「各種通知」のページを更新しました NEW
2020.06.09 「その他」のページを更新しました NEW
2020.06.04 「課外活動」のページを更新しました NEW

各種通知

遠隔授業

大学からの通知・連絡

- 2020.06.29 就職活動に関するお知らせ(第2報)
- 2020.06.29 2020年度における九州工業大学インターンシップガイドライン(第2報)
- 2020.06.24 第2クォーター以降の新型コロナウイルス感染症への対応について
- 2020.06.09 緊急学生アンケート(学生生活、健康、修学編)について
- 2020.05.29 緊急事態宣言解除後の大学の対応について(第2報)
- 2020.05.27 学長メッセージ～慎重さと寛容な気持ちを持ち、結束して新たな未来づくりを～
- 2020.05.15 緊急事態宣言解除後の大学の対応について
- 2020.04.30 令和2年5月7日(木)以降の大学の対応について
- 2020.04.30 遠隔授業における情報モラルについて
- 2020.04.23 学長メッセージ～この危機を好機に変える柔軟な発想力を～
- 2020.04.17 カウンセラー、ソーシャルワーカーからのメッセージ(在学生はごちそう / 新入生はごちそう)
- 2020.04.10 就職活動に関するお知らせについて
- 2020.04.08 学長メッセージ～緊急事態宣言の発令をうけて～
- 2020.04.08 緊急事態宣言の発令に基づく大学の対応について
- 2020.04.06 新歓コンパ等会合の自粛、国内移動の制限、課外活動等の禁止の要請
- 2020.03.24 令和2年度前期授業科目の受講における注意事項

学長メッセージ～この危機を好機に変える柔軟な発想力を～

更新日:2020.4.23

学長メッセージ ～この危機を好機に変える柔軟な発想力を～

学生のみなさん

九州工業大学長
尾家 祐二

本学ではこの4月、学部、大学院に1,647名の新入生を迎えることができました。学部における女子学生につ
いては、15%を超える153名(3年次編入学生を含め)が入学し、留学生は12カ国から55名が入学しました。
新入生の皆さんの入学を大変嬉しく思い、心から歓迎します。学部・大学院の学生総数は、42カ国からの留
学生330

この度
存しあ
急事態
立ち上
の対策

生の

学長メッセージ～慎重さと寛容な気持ちを持ち、結束して新たな未来づくりを～

更新日:2020.5.27

学長メッセージ～慎重さと寛容な気持ちを持ち、結束して新たな未来づくりを～

学生のみなさん

九州工業大学長
尾家 祐二

本学は、政府が4月7日に発出しました緊急事態宣言、およびその後の福岡県による緊急事態措置の重要性およ
び趣旨を重く受け止め、これまで対応してまいりました。具体的には、今年度の授業開始日を5月7日まで遅ら
せ、かつ大学への入構を必要最小限に抑えるなどの措置を行うなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に
努めてまいりました。

福岡県では5月15日に緊急事態宣言が解除され、この度、5月25日には全国的に、緊急事態宣言の解除がな
されました。ただし、福岡県からの要請では「徹底した感染対策を実施する」ということが条件になっていま
す。大学は非常に多くの人々が集う場所です。本学は、3キャンパスにおいて、6,000名を超える学生諸君、職
員、関係される様々な方々が活動しています。さらには、これまで産業界との交流、海外をはじめとした他大
学との交流を促進し、多様な人達が集うキャンパス作りを目指してきました。今後においても、感染の第2波
等が予想されており、大学として引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、段階的な規制の解除
を行っていくことが必要と考えています。

まず、新たなウイルス感染症拡大について

人類とウイルスの関係は、長い。絶滅できたのは天然痘ウイルスだけ。
有効なワクチン開発も容易ではない。

極めてグローバル化した世界、人、ものが行き交い、相互依存性が増した世界における新たな感染症への対応は未知の課題。

今後、感染者数を減らしたい、できれば0にしたい一方で、経済活動、社会活動もある程度活性化しなければ関連する犠牲者も出る。

⇒経済活動、社会活動が再開されるが、再度の感染拡大のリスクはある。

このような
状況の中

- 「慎重さと寛容な気持ちを持ち、結束して新たな未来づくりを」
(5/27 学生向けメッセージより)
- いかなる状況においても、大学の機能である教育、研究並びに
社会貢献活動を滞りなく果たし続ける
(後期科目においても、できる限り遠隔授業を実施する予定)
- 大学の価値創造を検討、試行する

次に、今回の変化について考える

距離を障害とさせない技術、制度、文化が必要になった

【2050年の世界－英『エコノミスト』は予測する】の中で、通信および情報技術によって、「距離は死に、位置が重要になる」（第19章のタイトル）と指摘しており、「人が絶えずつながり、多くの意味で距離がかつての重要性を失った世界だ。しかし、距離が死ぬと奇妙なことが起こる。人と物の物理的な位置が、いくつかの点でかつてない重要性をもつようになるのだ。」と述べている。

危機を好機に

- 距離の制約を無くすメリットを最大限に活かす
- 学ぶ場所、研究する場所、働く場所であるこの場所（大学）の価値を高め、新たな価値を創造する

距離の制約を無くすことによるメリットを最大限に生かす

- **物理的に離れている3キャンパスの教育資産を共有し、高度化する機会にする**
 - ・ 教養教育、専門基礎教育など各学部、各大学院で行われている科目を、遠隔授業を活用してキャンパスを跨いで実施することで、より多くの学習機会を提供する。
 - ・ 共通に行っている授業内容については、教材の共有化・高度化を進めるとともに、授業実施・授業改善の効率化を進める。
- **社会に潜在する学びたい人に、多くの良質な学びの機会を提供する**
 - ・ オンライン教材を活用することで、本学卒業生、大学院修了生を含め、多くの社会人の方々に、広く、最先端の新しい知識を身につける機会、および、基礎教育の学び直しの機会を提供する。
- **ここがグローバル：海外にいても九工大、九工大にいても海外**
 - ・ 海外の連携大学等の協力を得て、英語による遠隔授業を増やす。
 - ・ 海外に滞在する本学学生に対しても、九工大で学ぶ機会を提供する。
 - ・ そして、ネットワークを介して、海外協定校の学生との協働学習の機会を増やす。
- **新しいライフスタイルを、学習の場や勤務の場にも取り入れる**
 - ・ オンライン学習により学生の学び方を多様化させ、新たな学習スタイルを確立する。
 - ・ コロナ禍で普及した在宅勤務を継続的に実施し、効果的、効率的で多様なライフスタイルにあわせた働き方を目指す。

学ぶ場所、研究する場所、働く場所である この場所（大学）の価値を高める

- **多様な人達とともに、多様な環境で学び、新たな価値を創造する**
 - ・ 本学では、活発な産学連携、国際連携により多様な方々がキャンパスを訪れ、多くの共同研究が行われている。そのメリットを活かした環境下での学びを促進すると同時に、研究体制を充実させる。
 - ・ 留学生、短期研修で訪問する海外の学生との協働学習プログラムを開発する。
- **産業活動が豊かな北部九州地域に位置する大学ならではの学びを大切にする**
 - ・ 地域の企業様の協力を得た教育プログラムの開発を推進する。
 - ・ 製造業、ITサービス業などの企業現場の生の課題に接して、課題解決を体験する取り組みを導入する。
- **この場所に集うことによる学習効果を再確認する**
 - ・ チームによる協働でのものづくりを伴う学習プログラムを充実させる。
 - ・ 実際のものに触れ、体験しながら学んでいくことの重要性を再確認する。